

### 確率の求め方の工夫

確率を求めるときに、起こり得る場合のすべてを、**表や樹形図**を使って調べることができる。

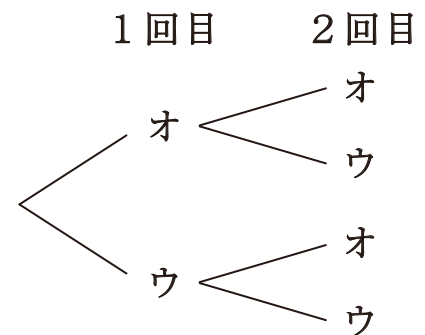
- 1 1枚を硬貨を2回投げるとき、2回とも表が出る確率を求めなさい。

表をオ、裏をウとする

#### 表を使って調べる

1回目 \ 2回目	オ	ウ
オ	オ・オ	オ・ウ
ウ	ウ・オ	ウ・ウ

#### 樹形図を使って調べる



起こり得る場合は全部で4通りある。2回とも表が出る場合は1通りある。  
求める確率は  $\frac{1}{4}$  となる。

- 1 5円の硬貨1枚と、10円の硬貨1枚を同時に投げるとき、次の確率を求めなさい。

① 5円の硬貨が表、10円の硬貨が裏となる確率

② 2枚とも表となる確率

③ 少なくとも1枚が表となる確率

### 確率の求め方の工夫

確率を求めるときに、起こり得る場合のすべてを、表や樹形図を使って調べることができる。

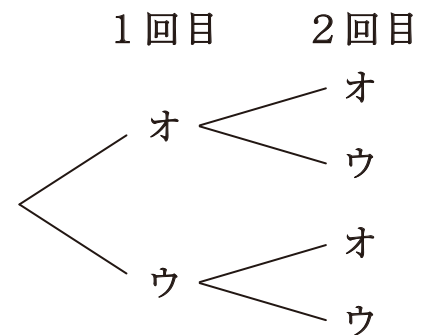
- 1 1枚を硬貨を2回投げるとき、2回とも表が出る確率を求めなさい。

表をオ、裏をウとする

#### 表を使って調べる

1回目 \ 2回目	オ	ウ
オ	オ・オ	オ・ウ
ウ	ウ・オ	ウ・ウ

#### 樹形図を使って調べる

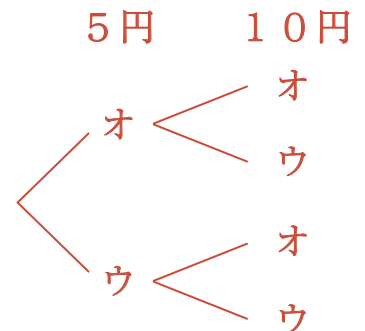


起こり得る場合は全部で4通りある。2回とも表が出る場合は1通りある。求める確率は  $\frac{1}{4}$  となる。

- 1 5円の硬貨1枚と、10円の硬貨1枚を同時に投げるとき、次の確率を求めなさい。

- ① 5円の硬貨が表、10円の硬貨が裏となる確率

$\frac{1}{4}$  起こりえる場合は全部で4通りあり、  
5円の硬貨が表、10円の硬貨が裏となる場合は1通りなので、求める確率は  $\frac{1}{4}$  となる。



- ② 2枚とも表となる確率

$\frac{1}{4}$  起こりえる場合は全部で4通りあり、  
2枚とも表となる場合は1通りなので、求める確率は  $\frac{1}{4}$  となる。

- ③ 少なくとも1枚が表となる確率

$\frac{3}{4}$  起こりえる場合は全部で4通りあり、  
少なくとも1枚が表となる場合は(オ,オ)(オ,ウ)(ウ,オ)の3通りなので、求める確率は  $\frac{3}{4}$  となる。